

教科名	美術科	学年名	第1学年	年間授業時数	45時間	教科用図書名	日本文教出版
教科の目標	<p>○対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。</p> <p>○自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。</p> <p>○楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>					学習の手引き	<p>○教室移動を早めにする。</p> <p>○時間を大切にする。</p> <p>○忘れ物をしない。</p> <p>○道具は大切にする。使い終わったらもとの場所に返す。</p> <p>○美術室にある道具や材料は勝手に持ち出さない。</p> <p>○作品へのいたずらは絶対にしない。</p> <p>○最後まで完成させる。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1 学 期	<p>感じたことをそのままに</p> <p>モダンテクニック</p> <p>レタリング</p> <p>ポスター</p>	<p>○身のまわりにあるものの造形的な面白さや美しさなどを、視覚だけでなく触覚など体全体で感じ取ることができる。</p> <p>○吹き流しや、スパッタリングの技法を用い、発想豊かな作品を制作する。</p> <p>○美しく、精密な文字を描くことができる。</p> <p>○伝えたい意図をまとめ、見やすい構図を考えることができる。</p>	<p>*各単元の評価の観点、評価の方法</p> <p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。</p>
2 学 期	<p>色のしくみ</p> <p>美術の鑑賞</p>	<p>○色の3要素や配色など、色彩の仕組みやその効果を知り、上手に扱うことができる。</p> <p>○芸術作品を鑑賞し、作者の意図や作品から感じることを自分で理解し、まとめることができる。</p>	
3 学 期	<p>鉛筆で描く</p> <p>自画像</p> <p>美術の鑑賞</p>	<p>○画材に合わせた描写の方法を学習する。</p> <p>○モチーフをよく観察し、特徴を描くことができる。</p> <p>○芸術作品を鑑賞し、作者の意図や作品から感じることを自分で理解し、まとめることができる。</p>	

教科名	美術科	学年名	第2学年	年間授業時数	45時間	教科用図書名	日本文教出版
教科の目標	<p>○対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>○自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>○主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>					学習の手引き	<p>○教室移動を早めにする。</p> <p>○時間を大切にする。</p> <p>○忘れ物をしない。</p> <p>○道具は大切にする。使い終わったらもとの場所に返す。</p> <p>○美術室にある道具や材料は勝手に持ち出さない。</p> <p>○作品へのいたずらは絶対にしない。</p> <p>○最後まで完成させる。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1 学 期	木版画 一版多色刷り木版画 モダンテクニック コラージュ	<p>○日本の伝統的な文様や構図の美しさを理解する。</p> <p>○混色や重色を行い、色彩表現の幅を広める。</p> <p>○感性を働かせて、写真や雑誌を独自に構成する。</p> <p>○抽象絵画とコラージュの関連性を学ぶ。</p>	<p><b>* 各単元の評価の観点、評価の方法</b></p> <p><b>【知識及び技能】</b> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>
2 学 期	デザインや工芸など オリジナルご当地キャラのデザイン	<p>○各地の文化や歴史を調べ理解を深める</p> <p>○情報を伝えるというデザインの基礎を学ぶ。</p>	<p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。</p>
3 学 期	粘土で作る 空想のりんごを制作する	<p>○既存の考え方や見た目にとらわれない考え方を身につける。</p> <p>○立体ならではの表現に取り組む。</p>	

教科名	美術科	学年名	第3学年	年間授業時数	35時間	教科用図書名	日本文教出版
教科の目標	<p>○対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>○自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>○主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>					学習の手引き	<p>○教室移動を早めにする。</p> <p>○時間を大切にする。</p> <p>○忘れ物をしない。</p> <p>○道具は大切にする。使い終わったらもとの場所に返す。</p> <p>○美術室にある道具や材料は勝手に持ち出さない。</p> <p>○作品へのいたずらは絶対にしない。</p> <p>○最後まで完成させる。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1 学期	<p>工芸（篆刻）</p> <p>墨が生み出す豊かな世界</p>	<p>○篆刻の装飾性と機能美を理解する。○作品に自分の想いを込め、興味をもって最後まであきらめずに制作することができる。○鑑賞作品から発想を広げ、計画的に構想を練り、石を彫り進めることができる。</p> <p>○雪舟作品を通して、水墨画の発祥や歴史を知る。○水墨画の技法を体験しながら、構図や技法を工夫して水墨画を制作することができる。○友だちや作家の水墨画を鑑賞し、そのよさや美しさについて話し合う。</p>	<p>*各単元の評価の観点、評価の方法</p> <p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。</p>
2 学期	<p>自画像の制作</p>	<p>○自分を見つめ、自画像で表すことに興味を持つ。</p>	
3 学期	<p>螺鈿調銘々皿の制作</p>	<p>○螺鈿細工について学ぶ。</p> <p>○漆調の皿に施すデザイン性を表現する。</p>	